

平成29年(2017年)5月15日(月)  
 発行 編集 越前市議会  
 〒915-8530  
 福井県越前市府中一丁目13番7号  
 TEL:0778-22-3426  
 FAX:0778-23-3000  
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



## 市民ホール・生涯学習センターの解体風景



解体前



解体中



解体後

# まちの顔となる新庁舎の建設に向けて

## 平成31年10月末完成予定

新庁舎鳥瞰イメージ図



### 「越前市本庁舎建設工事」概要

- ・建築面積 約 3,550㎡
- ・延床面積 約 11,900㎡
- ・構造 鉄骨造（制振構造）6階建て
- ・総工費 58億6650万円（解体費除く）

今年度から本庁舎の建設工事が始まります。建物は鉄骨造り6階建て、延床面積は約11,900㎡で、建材等には越前和紙や越前指物など地場産材が多く使われます。

平成29年3月定例会では、本庁舎建設工事費等の一部を含む、過去最大規模の平成29年度一般会計当初予算約368億円を可決しました。

本庁舎の建設に当たっては、財源に合併特例債※と市が積み立てた約16億円の庁舎建設基金を充てることや、すべての人が安全で利用しやすいユニバーサルデザインを心がけていることなどの説明が理事者からありました。

(※)用語解説

**合併特例債** 事業に要する経費のうち95%の借入れができ、元利償還金の70%が普通交付税によって措置される有利な借入金。事業費全体の約2/3が普通交付税で賄われ、市の負担割合は約1/3となる。

### 3月定例会の概要

平成29年第1回越前市議会定例会は、2月21日から3月17日までの25日間にわたって開かれました。この定例会では、人口問題・定住化政策の推進やまちづくり基盤整備の推進などを重点施策とした平成29年度一般会計当初予算案など14件、武生中央公園体育館の改築に伴い利用料金等を変更する越前市都市公園条例の改正案など10件、複合施設（今立総合支所）建設工事の請負契約に関する一般議案1件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、本会議最終日に原案どおり可決されました。

また、人権擁護委員に関する人事案4件に同意、議員の派遣1件を承認、15名の議員が3日間にわたり一般質問を行いました。

### 本号の主な内容

- 2～3面 ◆ 3月定例会議案質疑
- 4～5面 ◆ 15議員が市政をたず（一般質問）
- 6面 ◆ 常任委員会の審査結果を報告
- 7面 ◆ 議案審議結果
- 8面 ◆ 議会モニター1年を振り返る

# 平成29年度 当初予算決まる

## 総額 612億6,274万4千円 (前年度比2.9%増)

一般会計	367億7,100万円 (前年度比2.4%増)
特別会計	216億9,303万8千円 (前年度比4.0%増)
企業会計	27億9,870万6千円 (前年度比1.9%増)

# 3月定例会 議案審議



### 平成29年度当初予算審議

#### ■マイナンバーカードの普及と課題 戸籍住民基本台帳一般事務費

1896万6千円

**問** 個人番号カードの普及状況と問題点などは。

**答** 本年2月20日現在の交付状況は39933枚で、普及率は4.7%である。本人確認書類や証明書のコンビニ交付、e-Taxに利用できるが、それ以外の利用方法などの全体像が国民に示されていないなど、カードを持つ必要性を理解される方が少ないと思われる。



4月28日から開始した住民票などのコンビニ交付サービス

**問** マイナンバーは情報流出や管理システムの障害発生などが話題となっているが、今後の方向性は。

**答** 国には課題の早期解決を要望している。個人番号カードによる証明書のコンビニ交付が始まれば、市窓口の繁忙期には混雑が緩和され、お客様の待ち時間が改善すると考えている。個人番号カードは高いセキュリティ性が確保されているとされ、今後暮らしを便利にするカードとして利用価値は高まると考えている。

#### ■本庁舎建設に係る工事財源とユニバーサルデザイン 本庁舎建設事業

8億6930万2千円

**問** 本庁舎の建設着工は秋頃と聞いているが、工事費に一般財源を使うのか。

**答** 着工は本年8月を予定している。新年度の建設費は、合併特例債と庁舎建設基金を財源とし一般財源は使わない。

**問** 新庁舎はユニバーサルデザインの設計だと思いが、特に子ども連れ来庁者への配慮は。

**答** バリアフリー新法等に準拠した設計を行っているっており、誰もが安全で利用しやすい施設とする。お子さん連れの来庁者には、おむつの取りかえや授乳ができる部屋、全てのトイレには多目的トイレが併設され、1階のロビーにはキッズコーナーを設けるようになっている。

#### ■住宅取得費の一部を補助 住宅支援事業

1億457万円

**問** 住宅取得支援事業補助金の事業内容は。

**答** 3月策定予定の立地適正化計画に位置づける住居誘導区域において、40歳未満の方が住宅を取得する場合に、その取得費用の一部を補助する。

**問** 予算額が今年度より減額されている理由は。また、新年度での変更点はあるのか。

**答** 今年度は消費税の駆け込み需要を予定していたが消費税の変更に伴い、件数が増えなかった。新年度は申請件数が減少すると見込んでいる。また、新年度は補助対象を用途区域から居住誘導区域に変更し、市内業者が施工した場合などには補助額を加算する制度を設けた。



#### ■武生中央公園体育館の維持管理費 スポーツ施設管理運営事業

2億1595万6千円

**問** 武生中央公園に新体育館ができるが、維持管理費はどのようになるのか。

**答** 今までの体育館は指定管理委託料が800万円だったが、新しい体育館は年間で2800万円程度を見込んでいる。この内、空調設備にかかる点検費用、電気代等で合わせて大体1600万円となり、かなりの部分を占めている。

#### ■万葉の里味真野苑施設の再整備 万葉の里管理運営事業

9414万7千円

**問** 万葉の里味真野苑の整備工事の内容と目的は。

**答** 継体大王像北側の広場及び苑全体の花木と通路などを整備する。継体大王像前のお祭り広場への回遊性を高め、万葉ロマンの恋をテーマにした観光誘客拡大を考えている。観光誘致にはソフト事業が大事なので、今後観光協会を中心とし、恋をキーワードにいろいろな仕掛けを発信していきたい。



万葉の里味真野苑の継体大王像

#### ■たけふ菊人形の料金体系見直し たけふ菊人形事業

8349万5千円

**問** 会場再整備によるレイアウト変更などが予定されているが、この他に考えている入場者を増やすための方策は。

**答** 菊人形実行委員会では、これまでの料金体系を大幅に見直し、菊人形館と菊花展示館(新設)のセットで500円、またOSK日本歌劇団のレビューショーは菊人形館等とセットで2000円にするなど限られたエリアのみを有料とし、遊具やフードコート、お土産販売などのエリアは入場無料としたいと考えている。



たけふ菊人形のエントランス広場

#### ■私立保育園への防犯カメラや緊急通報装置の設置補助 民間保育園施設整備事業

1296万1千円

**問** 昨年発生した相模原の障害者施設殺傷事件を受けて、保育園での子どもたちをしっかりと守るための防犯対策は。

**答** 民間保育園の防犯対策施設整備として、11園に防犯カメラ等、16園に緊急通報装置の設置補助を行い、新年度で16園全ての保育園で整備が完了する。

# 本会議を見る方法は3つあります

## その1 傍聴

入口で住所・氏名を記入するだけでなく、どなたでも傍聴できます。場所は、市役所別館6階です。



お越しの際は、なるべく公共交通機関の利用や乗り合わせをしてお越しください。

## その2 丹南ケーブルテレビ

議会放送を見る時は92チャンネルです



●議会放送中、091チャンネルは図のようになります



議会放送を見るためには、リモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。

## その3 インターネット

本会議の様様を生中継と録画映像で、ご覧になれます。



※平成24年12月議会～平成29年3月議会の各本会議を見る事ができます。  
※一般質問は、発言通告順に並んでいます。興味・関心のある議員名・質問項目を見ることが出来ます。

※委員会も傍聴できます。

傍聴の方法は本会議の時と同様に、住所・氏名を記入するだけです。お気軽にお越しください。

## 条例審議

### ■ 武生中央公園体育館改築に伴い青年センターを廃止

#### ■ 越前市青年センター設置及び管理条例の廃止について

**問** 青年センターでは、協議会等を設置してさまざまな青年活動を支援してきたが、これまで同センターが担ってきた機能をどのように継続していくのか。

**答** 青年センターの機能は非常に重要で、生涯学習センターと各地区公民館等に機能を移転する。また、青年活動が推進できるよう、各公民館を中心に青年層向けの講座等の情報提供を行う。

**問** 青年の社会教育振興はどうなるのか。また、現在利用されている団体等の活動拠点は確保されているのか。

**答** 各地区公民館に青年学級等があり、生涯学習センターでも青年を対象とした講座などを行っており、公民館主事も含めて青年活動をサポートする。また、青年センターは8月末まで利用可能となっており、利用している5グループとは現在、移転先を協議している。市民には市広報や玄関口表示などで周知したい。



8月末で廃止される越前市青年センター

## 議会運営委員会視察報告

1月23日(月)～24日(火)

●大阪府八尾市

所管事務調査、予算決算常任委員会、タブレット端末の導入について

●愛知県安城市

議会での議案審査の効率化、常任委員会の事務調査のあり方を研究するため議会運営委員会視察を実施しました。

八尾市では、各委員会で決めたテーマを1年かけて調査研究し、調査結果を市に提出し、市から処理経過と結果の報告をもらっている事例を、安城市では、議員主導でタブレット端末の導入を進めている事例を伺いました。

越前市議会では、今回の視察を参考に、今後の議案審査の充実を目指してまいります。



委員会調査を充実させている八尾市議会を視察

## 議員協議会を定期的開催

越前市議会

では、議会活性化の取り組みの一環として、市政に関する重要な政策及び課題その他議会の活動について、共通認識および合意形成を得るため議員全員で議員協議会を定期的に開催しており、議員同士の自由な議論を行っています。



4月17日(月)に協議会を開催し、タブレット端末の導入について、これまでの経過報告を受けました。また、各種審議会の委員となつている議員が審議会の内容を報告した後質疑がなされ議員間で情報の共有が図れました。

また、新庁舎における議会棟の概要について、担当課の職員より説明を受けました。

今後も市政の重要課題について、議員間で活発な議論を行ってまいります。

## ■ タブレット端末導入に向け、検討委員会を設置

越前市議会では、現在の情報化社会において、効率的で迅速な議会運営・議案審議、情報の共有、議会の活性化など、市民に開かれた議会の実現とさらなる議会改革を推進することを目的として、市長部局と同時にタブレット端末を導入することとなりました。越前市議会では、タブレット端末導入にあたり、使用制限事項等を検討、運用規程案を作成し、議会運営委員会に報告することを目的に、ICT\*化検討委員会を設置しました。今後、全国他自治体の状況を参考にしながら、タブレット端末の使用方法などを検討してまいります。

\*ICT：情報通信技術の略

### 越前市議会ICT化検討委員会

- 委員長 大久保 健一
- 副委員長 吉田 啓三
- 委員 川崎 悟司
- 委員 吉村 美幸
- 委員 加藤 吉則
- 委員 西野 与五郎
- 委員 佐々木 哲夫
- 委員 片粕 正二郎

## 3月定例会で議員の派遣を承認

友好都市議会との行政懇談および各常任委員会の所管事務について先進事例を調査研修するため、各議員の派遣について本会議で承認しました。

日程、視察先、および主なテーマは次のとおりです。

◆行政懇談会(4月27日)

・岐阜県本巣市

「ジビエ6次産業化事業について」

「鳥獣害対策について」

◆総務委員会(5月10日～11日)

・滋賀県草津市

「コミュニティバスの広域連携について」

・静岡県島田市

「広域路線における自主運行バスについて」

◆教育厚生委員会(5月9日～11日)

・山形県天童市

「介護予防・日常生活支援総合事業について」

・福島県郡山市

「子ども総合支援センター事業について」

・滋賀県野洲市

「「くらし支えあい条例」による生活困窮者等の支援について」

◆産業建設委員会(5月24日～26日)

・千葉県佐倉市

「起業支援・企業誘致における取組みについて」

・茨城県つくば市

「つくばものづくりオーケストラ(MOTS)について」

・群馬県伊勢崎市

「Made in いせさき事業について」

## 3月定例会で採決された人事

### 人権擁護委員の候補者の推薦に同意

- 伊藤 達道 氏(松森町)
- 名田 淳賢 氏(安養寺町)
- 小林 幸子 氏(堀川町)
- 大森 れい子 氏(杉尾町)

3月定例会  
一般質問

3月定例会では、15人の議員が2月28日・3月1日・3月2日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

公共交通

福井鉄道福武線の新駅設置は見直すべき

**問** 家久駅北に新駅設置計画があるが、取付け道路整備等は市の負担となること。利用見込みを踏まえ新駅の設置そのものを見直す考えはないのか。

**答** 家久駅から武生商業高校までの距離は800mで、新駅からの770mと大差ない状況。その上、新駅からの堤防道路舗装や街灯設置等の整備が市の負担で必要となる。新駅設置に当たっては改めて費用対効果を見極める必要があると考える。

他の質問項目

- ・サルの捕獲
- ・障がい者と家族の支援



市民ネットワーク  
霜 実男

他の質問項目

- ・労働人口減少対策について
- ・空き家問題について

免許自主返納者への対策を充実させよ

**問** 高齢者が免許を自主返納した場合、その足代わりとなるような対策を市として考えているのか。

**答** 65歳以上の方を対象に1回100円で利用できる福祉バス制度のほかに、市民バスについては、運転免許を自主返納された65歳以上の方に対する無料乗車期間を現在の最大10年から、無期限に延長する。さらにタクシーについては、2月から75歳以上の自主返納者に対し、料金の1割引きのサービスを開始している。



市民ネットワーク  
吉田 啓三

農政

減反政策の見直しに対する市の米政策は

**問** 生産者の高齢化、後継者不足、獣害被害の拡大など深刻さが増す中、平成30年以降の減反政策の見直しに対する市の施策は。

**答** 農業収入の不安に対しては、既存の転作物への補助金が継続される限り、生産調整は経営的にも有効である。市としては、農地中間管理機構の活用による農地集積で効率性の向上、環境調和型農業やブランド化により付加価値の向上、また水稲と園芸との複合経営や転作により経営安定化を図るなど、取り組みを推進していく。



政新会  
川崎 悟司

公共施設

公共施設等総合管理計画を着実に推進せよ

**問** 公共施設等総合管理計画では、今後40年で延べ床面積の3割削減を目標に掲げているが、その考え方は。

**答** 市の公共施設は約30年後に更新費用のピークが発生する見込みであり、更新費用を複数年かけて平準化する必要があると考え、計画期間を40年とした。また、40年後の人口が最大時から約3割減少する見通しであり、公共施設に対する需要も少なくなると考えられることから、3割削減を目標に掲げた。

他の質問項目

- ・行財政構造改革プログラムについて
- ・水道施設更新計画について



誠和会(自民・公明)  
清水 和明

防災

木造住宅の耐震化を速やかに実行せよ

**問** ①災害時要支援者の名簿提供について同意意向調査の進捗状況は。②不同意者への対応は。③住宅耐震化促進のための市の施策は。

**答** ①要支援者2671人のうち、同意者1340人、不同意者618人、未回答者713人。②ご家族の協力を得るなどして、本人の同意を図っていく。③国、県の住宅耐震化支援の補助30万円の加算を活用すると共に、建築業関係団体等と連携しリフォームにあわせた耐震化のPRに努めていく。

他の質問項目

- ・高知県四万十町の住宅耐震推進の事例をどう評価するか。
- ・幼小中学校で展開されている防災教育・指導の現状は。



日本共産党議員団  
加藤 吉則

まちづくり・中心市街地活性化

まちづくりの計画(しくり)には市民との十分な対話が必要

**問** これからの町づくりについて、ネットワークの維持が厳しい地域や集落に対し、今後どうするのがよい方策か、地域の人々と時間をかけ真摯に話し合うことが重要であると思いがどう考えるか。

**答** 都市計画マスタープランと立地適正化計画については、各生活圏を公共交通で結ぶネットワーク型コンパクトシティーを目標としている。この計画の実現には、市民への周知、理解が重要であり、自治振興会等とも連携し、説明等を行っていく。

他の質問項目

- ・公共施設等総合管理計画
- ・新庁舎と総合支所の市民利用機能の実施設計



未来  
佐々木哲夫

越前市の特色を活かした中心市街地活性化を図れ

**問** まちづくり会社と共に、中心市街地の特定エリアに歴史や文化と共にあわせて地域ならではの伝統工芸品を集積するゾーンを構築し、越前市のブランドینگに取り組みべきだと思いが。

**答** 観光客にも楽しんでもらえるゾーン構築については、中心市街地の特徴である「趣のある町屋」などを活用した魅力ある店づくりなどが有効であると考え、新年度からは重点エリアを設定し、魅力ある店舗づくりを支援したい。

他の質問項目

- ・民生委員、福祉推進員の負担軽減
- ・「いきいきふれあいのつどい」の運営



未来  
小形 善信

半世紀に一度のまちづくりの青写真を示せ

**問** 市庁舎、体育館、中央公園整備等を契機として、まちの活性化につながるための青写真を示されたい。

**答** 新体育館や中央公園でのイベント等を通してまちなかへの交流人口の拡大を図るとともに、新庁舎建設を通して中心市街地の高次都市機能の向上を、また複合施設建設を通して周辺地区の地域都市機能の向上を図っていく。さらには新幹線駅周辺地区を、丹南圏域を超える多様な広域交流・連携の拠点として市の活性化を図っていく。

他の質問項目

- ・若者の意見を尊重したまちづくり
- ・「地方創生」事業の取り組み



諸派  
片粕正二郎



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

福祉

安全

新庁舎

新庁舎に越前市の伝統工芸品を活用せよ

新庁舎で越前和紙などの伝統工芸品の素材を、どのように使うのか。越前和紙は、多目的ホールの照明やロールスクリーン、カーテン、壁紙として使用し、越前瓦は、外壁の仕上げ材、また1階ロビー、外構の舗装材、トイレの内装タイルとして使用する。また、越前指物や越前打刃物などの地場産材も数多く採用していく。

他の質問項目  
・越前市の財政について  
・「いきいきふれあいのつどい」について

市民ネットワーク

吉村 美幸



地域住民の安全を十分考慮することが第一

用水路に面した市道で、ガードレール等の防護柵が設置されていない危険箇所に対し、防護柵を設置する考えはないのか。

用水路や排水路に沿って市道がある場合は、通行する車両や歩行者の転落防止のため、危険度に応じて防護柵等の設置に取り組んでいる。設置に当たっては、国の防護柵設置基準や、現場の状況を総合的に勘案し、安全上設置が必要と認められる区間について、水路管理者と協議の上で対応している。

他の質問項目  
・中心市街地活性化基本計画について

誠和会(自民・公明)

大久保健一



越前市が勧めている介護予防事業の効果は

越前市では介護予防の一つとして「つどい」の開催を支援しているが、全国では介護認定率が右肩上がりである中、市では右肩下がり効果が出てきている。この効果を金額で示すといくらになるか。

本市の平成26年度の要介護認定率は18.01%であったが、平成28年度には17.47%まで低下している。認定率が0.54%減少したことによる介護給付費の減額は約2億円である。

他の質問項目  
・子ども政策について  
・武生中央公園の文化ゾーンのあり方について

政新会

安立 里美



保護者の希望する保育園に入園できるよう環境整備を進めよ

保護者から希望の保育園に入れないという声も聞かれ、保育園の適正な配置なども考える必要があると思うが、新年度は希望に沿った入園状況となっているのか。また、保育士不足の要因である処遇を改善する考えはないか。

新年度の入園希望児童は公私立合わせて646人で、そのうち57人は家庭の事情などを勘案し、第2希望等の園への案内で全ての児童が入園できる状況となっている。保育士不足の問題は国の責任で思い切った改善策が必要と考える。

日本共産党議員団

前田 修治



他の質問項目  
・地区公民館の運営について

教育

総務

市長の多選自粛条例を制定すべきではないか

市長は1期目と2期目のマニフェストで、市長の任期を3期に制限する多選自粛条例を制定すると記載しているが、なぜ制定しないのか。マニフェストに多選自粛条例の制定をあげたところ、職業選択の自由を保障する憲法上での疑義が出た。また、条例制定のためには、地方自治法等の改正が必要となるが、国においては動きが全くない。したがって今任期中での制定は不可能と判断し、マニフェストから削除した。

他の質問項目  
・JR武生駅〜王子保駅間の新駅設置について  
・市長マニフェストと総合計画について

未来

中西 眞二



教員の多忙化を解消せよ

教員の厳しい労働実態を踏まえ、働き方の改善策を考えるべきではないか。

学校の主人公である子ども達の健やかな成長のためにも、大切な子ども達に向き合ってもらおう先生方の多忙化解消の取組みは重要である。長時間勤務の解消に向けて、現在は学校内や市内全体の会議等の時間短縮を行っているほか、勤務時間を一週間、一カ月単位で調整可能にするなど、対応可能な部分については学校教育全体のバランスの中で取り組みを進めている。

他の質問項目  
・介護保険制度改正による「新しい総合事業」について  
・特別養護老人ホームのあり方について

誠和会(自民・公明)

川崎 俊之



人権

人権尊重の取り組みを推進せよ

国籍や性別、障がい又は性的指向性自認などを理由とした差別をなくし、生き方の多様性を認め合える社会にするための仕組みが必要であり、人権を担当する部署を明確に位置づけるとともに人権擁護センターの設置を提案したい。

人権に関する相談窓口の周知や、生き方の多様性について市民に正しく理解してもらうための取組みを進める。人権擁護センターの設置については、国・県との役割分担を踏まえ、調査、検討を行っていききたい。

他の質問項目  
・社会福祉法人改革について  
・地域防災力の強化について

市民ネットワーク

三田村輝士



議会を傍聴しませんか

6月定例会は、6月9日(金)から開会予定です。

詳しい日程は議会事務局までお気軽にお問い合わせください。

TEL(2)3426



# 常任委員会委員長報告

議案を審査するため常任委員会を開催しました。委員長報告の一部を紹介します。

## 総務委員会

### ふるさと納税を通して越前市への関心を高めよ

平成28年度越前市一般会計補正予算(第6号)中、ふるさと納税推進事業に関して、委員からは、ふるさと納税の歳入における歳出の割合および越前市から他自治体に納税されたために越前市で減収となった金額についての質問がありました。

理事者からは、全国的に見ると、ふるさと納税が多いところは歳入の6割とか7割が返礼品を含めた経費となっているが、越前市では、平成28年度予算のふるさと納税は歳入で6500万円、歳出で返礼品としてその3割で、経費を合わせると約4割の2500万円となっている。また、平成27年度に越前市民が他自治体へ納税された額は743万円となっている、との回答がありました。

これに対し、委員からは、過剰な返礼品競争に参入せずに、地方色を出して、多くの方が越前市に関心を持ち、市政への参加意識を高められるよう考えてほしい、との要望がありました。

### 町内会に支払う行政協力交付金を増額せよ

平成29年度越前市一般会計予算中、地域自治振興事業に関して、委員からは、各町内会に支払われている行政協力交付金の算定は、均等割と世帯割を基準としているが、現在の交付金額では活発な地域活動には不十分といった実態がある。交付金を増額する考えはないのか、との質問がありました。

理事者からは、避難要支援者の支援、見守り活動といった防災関係や地域福祉の分野で行政協力業務の内容が以前よりも大きくなっているという事で、平成27年度に均等割分を3000円値上げした経緯があり、業務の見直しを含め、世帯割について、今後精査していきたい、との回答がありました。

これに対し、委員からは、高齢世帯が多くなれば、除雪などの手伝いをする事例も増えてくると思う。地域できめ細かなお手伝いができるよう、いち早く交付金制度の方向性を出してほしい、との要望がありました。

### 福井国体に向け機運の盛り上げを図れ

平成29年度越前市一般会計予算中、国体実行委員会運営事業に関して、委員からは、平成30年の福井国体に向けて、市民の盛り上げが少なく感じているが、今後市民の盛り上げをどのように図っていくのか、との質問がありました。

理事者からは、花いっぱい運動をはじめ、市内のイベントに、マスケットキャラクターなどの広報アイテムの貸し出しを行い、市民から市民へとPRをしてもらっている。また、地域ミーティングの中でも国体のPRを図ってほしい、との回答がありました。

これに対し、委員からは、市民自らが国体を楽しめる雰囲気づくりを、市が積極的にを行い、国体の機運を盛り上げていただきたい、との要望がありました。



福井しあわせ元気国体マスコット「はびりゅう」とたけふ菊人形マスコットキャラクター「きくりん」の国体PR画像

## 教育厚生委員会

### 消費者センターのより一層の機能強化を図れ

平成29年度越前市一般会計予算中、消費者対策事業について、委員からは、全国の消費者センターが受ける年間の相談件数は、人口1万人当たり平均82件のところ、越前市消費者センターは125件と全国平均の1.5倍であるとの説明があったが、件数が多い要因は何か質問がありました。

理事者からは、越前市消費者センターは所長1人と相談員3人を配置し、相談体制を整えている。電話相談も多く「消費者センターに相談すれば大丈夫」と市民に思っていたいており相談しやすい雰囲気になっていることが要因だと考えている、との回答がありました。

これに対し委員からは、気軽に相談できる環境であることは大切である。消費者センターで得た情報をしっかりと広報するとともに、今後もセンターの機能強化に努められたい、との要望がありました。



JR武生駅前のセンチュリープラザ1階にある越前市消費者センター

### 小中学校給食費の保護者負担軽減策を検討せよ

平成29年度越前市一般会計予算中、小中学校の学校給食事業に関して、委員からは、学校給食費値上げの経緯についての質問がありました。

理事者からは、越前市学校給食物資・価格協議会での協議を経て、平成29年4月から給食費を値上げする。学校給食法の規定に基づき、給食調理にかかる施設や設備、運営に要する経費は市が負担し、食料費の実費を保護者が給食費として負担している。近年、野菜などの食料費高騰により、安全でおいしい給食を維持するため、値上げ率を5パーセントとし、1食あたり11円から13円の値上げを予定している、との回答がありました。

これに対し委員からは、全国の自治体の中には独自の政策として、学校給食の無償化を実施している自治体がある。越前市は、市総合戦略のタイトルに「女性が輝くモノづくりのまち・子育て・教育環境日本一」を掲げており、思い切った子育て支援策として、学校給食無償化など保護者の負担軽減策を検討するよう要望がありました。

### 住民主体の介護予防活動を継続するためには次世代の担い手育成が重要

平成29年度越前市介護保険特別会計予算について、委員からは、介護予防・日常生活支援総合事業について、越前市は住民主体の支援合いを中心とした介護予防や日常生活支援を行う方針だが、町内の役員は高齢化が進み、地域の負担が重くなってきたと感じている。今後ますます高齢化が進展する中で、この事業をこれからどのように進めていくのか、との質問がありました。

理事者からは、高齢者が自らの能力を発揮できる場に参画することは、介護予防に効果的であり生きがいにもつながると考え、住民主体の支援合いを中心とした介護予防活動を取り入れた。このような取り組みは県内では越前市だけであり、その効果が要介護認定率の低下という形で表れ始めている。今後も高齢者自身が参加する介護予防・日常生活支援を推進し、一部の方は積極的に負担が偏らないように、みんなで少しずつ支え合うような地域づくりを進めたいと考えている、との回答がありました。

これに対し、委員からは、このような事業を継続するためには、次の担い手を育てていくことが重要であり、各町内に対し十分な指導をしてもらいたい、との要望がありました。

## 産業建設委員会

### 農業委員会に女性や幅広い年代の意見が反映されるよう努めよ

越前市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について、委員からは、新しい農業委員会制度の元での、女性や若者の参画について質問がありました。

理事者からは、農業委員の構成については、法律により認定農業者を半数以上入れることや、農業に直接関与しない方を中立委員として入れることが定められている。また、女性、青年などを入れて、幅広い意見を聞くようにすることも努力義務として課せられているので、これに基づき委員の構成をしていきたい、との回答がありました。

これに対し委員からは、女性や若者からの応募を募るための周知方法について質問がありました。

理事者からは、4月から農業団体等に説明を行い、制度について周知をしていき、幅広く募集をする中で、より多くの方に応募してもらえよう努める、との回答がありました。

委員からは、初めての取り組みとなるので、農業者に対してもしっかりと理事者が周知をして、今後厳しくなる農政に向けて、幅広い見地を持たれる方たちの英知を結集できるような委員会にしてほしい、との要望がありました。

### 農業公社との連携を強化し鳥獣害対策を推進せよ

平成28年度越前市一般会計補正予算(第6号)中、農作物鳥獣害防止対策推進事業について、委員からは、これまでの推進体制と、今後の市の方針について質問がありました。

理事者からは、これまでの推進体制としては、現場の指導を強化すべく、平成26年度から農業公社に人員を2名から4名に増員し、休日も含めた体制を整えた。また、インシシに加え、サルやシカによる被害が増えている状況を踏まえ、鳥獣被害防止計画を改定し、効果的な情報の収集と鳥獣被害対策に関する知識を住民に普及啓発するとともに、地域における鳥獣対策を担う体制、人づくりを推進し、農業公社、猟友会等の関係機関と連携を取りながら鳥獣害対策の推進を図っていく

きたいとの答弁がなされました。  
これに対し、委員からは、鳥獣害対策の推進には地元の理解が必要である。そのためにも、職員が現場に向く回数を増やし、農業公社との連携をより密に取られたい、との要望がなされました。

**住宅取得支援策の周知の徹底を図れ**  
平成29年度越前市一般会計予算中、住宅支援事業について、委員からは、本事業を推進するにあたっての考え方について質問がありました。  
理事者からは、市内での建築や居住に弾みをつけるため、住宅を取得される方や既存の空き家を活用される方などに支援をし、市内の定住化の推進を図っている、との回答がありました。

続けて委員からは、補助の対象を40歳未満としていることに対し、晩婚化が進み子供を産み育てる年齢が上がりつつある中で、何らかの要件緩和は考えられないのか、との質問がありました。

**住宅取得支援策の周知の徹底を図れ**



平成29年度は鳥獣害対策のおりを145か所に設置予定

きたいとの答弁がなされました。  
これに対し、委員からは、鳥獣害対策の推進には地元の理解が必要である。そのためにも、職員が現場に向く回数を増やし、農業公社との連携をより密に取られたい、との要望がなされました。

**議案の議決結果**

平成29年第1回越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	議決結果
議案第1号	平成28年度越前市一般会計補正予算(第5号)	可決(全員)
議案第2号	平成28年度越前市一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)
議案第3号	平成28年度越前市下水道特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第4号	平成28年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第5号	平成28年度越前市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第6号	平成28年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第7号	平成28年度越前市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第8号	平成29年度越前市一般会計予算	可決(全員)
議案第9号	平成29年度越前市下水道特別会計予算	可決(全員)
議案第10号	平成29年度越前市国民健康保険特別会計予算	可決(全員)
議案第11号	平成29年度越前市介護保険特別会計予算	可決(全員)
議案第12号	平成29年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	可決(全員)
議案第13号	平成29年度越前市水道事業会計予算	可決(全員)
議案第14号	平成29年度越前市工業用水道事業会計予算	可決(全員)
議案第15号	越前市産業振興・環境保全基金条例の廃止について	可決(全員)
議案第16号	越前市市税賦課徴収条例等の一部改正について	可決(全員)
議案第17号	越前市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第18号	越前市印鑑条例の一部改正について	可決(全員)
議案第19号	越前市工芸開放試験場設置及び管理条例の廃止について	可決(全員)
議案第20号	越前市越前和紙の里紙の文化博物館設置及び管理条例の一部改正について	可決(全員)
議案第21号	越前市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決(全員)
議案第22号	越前市都市公園条例の一部改正について	可決(全員)
議案第23号	越前市青年センター設置及び管理条例の廃止について	可決(多数)
議案第24号	越前市粟田部コミュニティセンター「うすずみ会館」設置及び管理条例の廃止について	可決(全員)
議案第25号	工事の請負契約について	可決(全員)
議案第26号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)
議案第27号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)
議案第28号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)
議案第29号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意(全員)

**賛否の公表**

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：賛 反対：否)

議案	会派名 議員名	賛										否																			
		市民ネットワーク					未来					誠和会					政新会					共産					諸派				
		吉村美幸	小玉俊一	霜実男	吉田啓三	三田村輝士	佐々木富基	佐々木哲夫	小形善信	中西眞三	伊藤康司	福田往世	大久保健一	清水和明	川崎俊之	前田一博	安立里美	川崎悟司	城戸茂夫	加藤吉則	前田修治	西野与五郎	片粕正二郎								
議案第23号 越前市青年センター設置及び管理条例の廃止について(可決)		賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛								

(注) 議長は採決には加わっていません。  
誠和会：誠和会(自民・公明) 共産：日本共産党議員団

# 議会モニター1年を振り返る

議会モニターの皆さんに、モニターとしてご活躍いただいた1年間を振り返り、市議会に対する思いなどをお聞きしました。

## ◆モニター制度の始まり

議会モニター制度は平成28年6月から導入し、まもなく1年になります。この制度は、議会への市民参加を推進する取組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるような議会運営に対する要望やご意見をいただくために導入されました。

## ◆モニターへの活動

モニターには、市内の男女8人(団体推薦5人、一般公募3人)を委嘱し、計9回のモニター会議を開催しました。

活動としては、政務活動費や議員定数をテーマとしたモニター間の意見交換や議員との懇談会を実施しました。また、本会議・委員会を傍聴いただき、市民目線で感じたことを話し合いました。

## ◆モニター制度の効果

モニターの見解は議員協議会等において全議員に周知され、政務活動費を使った広報のあり方など、議員同士活発な意見交換が行われました。

## ◆議会モニターのみなさん

- 飯塚八重子氏(公募)
- 石井由紀世氏(公募)
- 井上 郁子氏(公募)
- 西藤 浩一氏(武生商工会議所推薦)
- 玉川 忠春氏(連合福井丹南地域協議会推薦)
- 福島 宏氏(越前市自治連合会推薦)
- 藤谷 家也氏(越前市社会福祉協議会推薦)
- 松永 恵美氏(越前市女性会推薦)



## ◆議会審議について

一般質問について、定期的なスケジュールで、比較的小さい方がいる。質問の回数も議会を見るうえで注目していく必要があると考えている。

内容が重複している一般質問がある。事前に議員同士で話し合っ、項目を調整できるといい。

一般質問のどこかで理事者の本音を引き出させるような質問があるといい。重箱の隅をつつくような質問ではなく、越前市の実態をしっかりと見て質問をしてほしい。

制度の内容を議論するのではなく、国や県の制度に対して、越前市はどのような対応をしていくのかを議論してほしい。質疑や一般質問では、議員に十分な時間を用意して勉強してもらわないといけない。

委員会は、所管の課長も出席し、事業内容の詳しい説明も聞けるため、非常に内容が濃くなっている。本会議のように中継があると、委員会でのようなやりとりをされているのか実感できるためいいと思う。

## ◆政務活動費について

議員個人が発行している議会だよりは、個人のPRや次の選挙につながるようなものが非常に多いと思う。議会が発行している議会だよりで、個人や党派とは別に越前市の重要課題や重点目標に対する議会の考え方を示していけばいい。

政務活動が議会の一般質問や質疑の中で提案や提言につながるべき。議員は政務活動費を活用した成果を市民に説明していかなければいけない。

議員が新聞や広報誌を通じて市民に歩み寄っていているという姿勢をアピールしているといい。

広聴費が少なすぎると思う。例えば一回語る会を開催しただけでも議員に関心を持つし、市民の事もお互いに分かる。

政務活動費の半分以上を広聴費にあてたほうがいいのではないかと考える。地域のことを聞くのが代表だという意識がない。頭でっかちになってしまったと思う。

議員個人や党派で発行している議会報告だよりが政務活動費を使って作成されていることを市民は知らない。政務活動費を使って作成している事を広報誌に明記して、市民に知らせるべきである。

## ◆議員定数と議員報酬について

議員の数よりも議員の質がどうか、議員の活動がどうかをもっと市民に知っていただき、その上で報酬や議員定数の議論をすべきだと思う。

議員の質が高いと市民が判断すれば数を減らせとかそういう話は出てこないのではないかと。議員がどのような活動をしているのか市民の人に知っていただきたい上で、定数議論をすべきと思う。

報酬を高くする事で、議員としての責任が増す。また、市民のほうも、しっかりと議員活動を行うように厳しい目を持って議員を見るようになると思う。本当に今の報酬が低いのかという話もある。年間600万の報酬と、70万の政務活

動費をあわせると670万で、普通のサラリーマンと比較すると中堅以上の年収である。若い人がそれだけでももらえるなら議員になる選択もありうると思う。必ずしも報酬が安いとは思わない。30代、40代の人たちに今後議会にどのように関心を持たせて、議員になろうと思ってもらおうのか考えなければならぬ。そのためにも、報酬だけでなく、年金の事などの待遇改善も考えてあげないと、議員になる人も少なくなると思う。

議員定数を下げ、より優れた人物を市民が選ぶようにし、代わりに報酬や政務活動費を今より上げないと手が届かなくなると思う。

現実を考えると、定数は削減しても20までだと思ふ。それ以下になると議会としての機能に支障をきたすのではないかと。



## ◆議会の傍聴について

傍聴することで議会の現場に触れる事ができる。日中働いている人たちはなかなか傍聴できないが、議会を直接聞く事は大事なことである。

傍聴の案内看板を出しているが、これからも傍聴を市民の皆さんに呼びかけていく事が大事だと思う。

議会の敷居をもっともっと低くして、子どもも含め誰でも気軽に傍聴してもらえようと思ふ。

## ◆今後の議会モニターに向けて

モニターに学生の代表に入ってもらおうとか、PTAなどの団体に入ってもらおうとかすれば、また違った視点での意見が出てくると思う。

いろんな世代の人たちがモニターになる事で、逆に議会に対する注目度もあがると思う。

議会モニターとしても市民が関心を持ってもらうように仕掛けていかないといけない。

## ◆議会モニターの主な意見例

モニターの見解を受けて改善された具体的な事例として次のようなことがあります。

事例①	事例②	事例③
<b>事例①</b> 政務活動費の支出一覧を議会だよりに掲載し、透明性を高めるべき。 平成28年度分の支出一覧を今年8月発行予定の議会だよりに掲載することに決定した。	<b>事例②</b> 議員は現場に足を運ぶことが大切である。 各常任委員会や党派で実施している現地視察をより充実させた。	<b>事例③</b> 議場傍聴席から議員の顔が見えない。 傍聴席に液晶ディスプレイを設置した。

議会モニターのみなさん、1年間ご協力ありがとうございました。今後、議会モニター制度をはじめ、市民と議会との語る会などを通じ、市民の皆様のご意見を積極的に聞き、市民に開かれた議会を目指します。

## 問合せ先

市議会事務局

Tel (22) 3426